この調べかたガイドは、区ごとに2つのことがらを選び、それについて調べるのに役立つ図書館の本や、ホームページで見られる情報を、まとめたものです。

ID ・・・大阪市立図書館の「書誌 ID」（問い合わせや予約をする時に便利です。）
＊・・・西成図書館にあるもの （＊の無いものも、予約して取り寄せることができます。）
・・・小学生から読めるもの
WEB・・・大阪市立図書館のホームページにのっている情報です。

しょうかいした本やホームページなどは、一例です。
図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも、「よくある質問」や区に関する資料のリストがあります。見てみてください。
もっとくわしく知りたいときは、図書館のカウンターへ相談してください。図書館司書がお手伝いします。

大阪市立 西成 図書館

〒557-0041 大阪市西成区岸里1-1-50 電話 06-6659-2346
耳の不自由な方など、電話の使えない方は⇒ ファックス 06-6659-8599

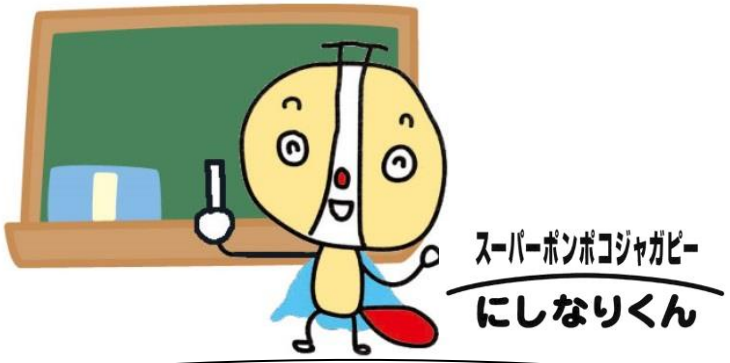


OsakaMetro四つ橋線「岸里」をおりて、２号出口から東方向に 100 メートル
OsakaMetro 堺筋線・南海本線「天下茶屋」をおりて、南西方向に 500 メートル

大阪市立図書館ホームページ http://www.oml.city.osaka.lg.jp/

西成区の調べかた

こども版調べかたガイド：各区版



西成区をしらべてみよう！

西成区のなりたち

「こつまいか」「こつまなんきん」について



オムリンです。よろしくね。

大阪市立西成図書館

2018.3

西成区のなりたち

「西成」の地名は、奈良時代に、今の上本町のあたり、上町台地の西側を「西成郡（西生郡）」と呼ぶようになったのがはじまりと言われています。江戸時代の西成郡は、現在の難波や梅田、さらには東淀川区、淀川区、西淀川区までをふくむ、大きな郡でした。その後、1897（明治30）年の第1次大阪市市域拡張で、現在の港区や此花区、大正区のあたりが、西成郡から大阪市になりました。1925（大正14）年の第2次市域拡張で西成郡はなくなり、今の形に近い西成区が誕生します。さらに 1943（昭和18）年に、西成区の粉浜村の大部分が住吉区に、かわりに天王寺村の一部が西成区になり、現在の西成区の形ができました。

『私たちのまちにしなり：西成歴史・地図帳 2015年度版』 大阪市立大学地域連携センター/編集 大阪市立大学地域連携センター 2015*ID 0013552327

『にしなり再発見：西成区制70周年記念』西成区制70周年記念事業実行委員会 1995*ID 0000496015

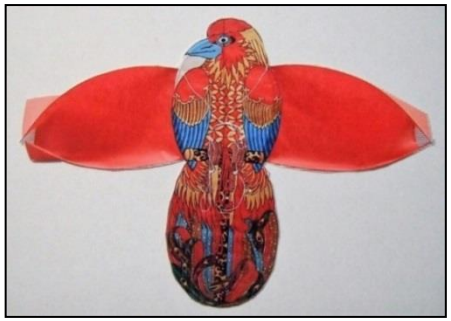
『90th Anniversary：西成区制90周年1925-2015』西成区役所 2016*ID 0014054097

大阪市役所ホームページ 市域

http://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000010265.html

「こつまいか」「こつまなんきん」について

西成区玉出のあたりは江戸時代、勝間村と呼ばれていました。当時、凧は「いか」と呼ばれていました。勝間村で作られた勝間凧（こつまいか）は風をうけやすい独特の形をしていて、大阪はもとより、遠く海外にまで売られました。また、勝間村名産のあまくておいしい南瓜（カボチャのこと）も有名で、勝間南瓜（こつまなんきん） と呼ばれました。一時栽培が途絶えていましたが復活し、現在はなにわの伝統野菜の一つになっています。



こつまいか「金鵄（きんし）」
画像協力：勝間歴史と文化の会

『勝間凧(こつまいか)の話：大阪に伝わった凧の歴史』 木村 薫/著；伊地知 英信/編集 大阪市西成区役所 2004 ID 0010851665

『なにわの伝統野菜』 大阪府立農林技術センター 2001*ID 0010165446

『大阪なにわ伝統野菜のお・は・な・し』 志村 敏子/作；大西 美伸/絵；大西 祐作/絵 内外出版 2008*ID 0011585840

西成区役所ホームページ 文化・名所・旧跡

http://www.city.osaka.lg.jp/nishinari/page/0000000741.html